

『私たちを熱愛する神』 出エジプト記20章1～6節 2018.6.10 聖日礼拝説教より

『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ、またあなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』ルカ 10:27

神は十戒を与える前、民をエジプト(奴隷の地)より連れ出したことを告げ、そこで民は服従を誓った(出エジプト 19:4、8)。彼らは喜んで神の愛に応答した。

❶**十戒は、人生の手引書(マタイ 5:16～17)…悪魔(欲)の奴隷の人生ではなく、神に似た者となるためには正しい手引書(十戒)が必要!**『良い行い(マタイ 5:16)』とは、『律法の実行』であり、律法とは、神を愛し、隣人を愛すること(ルカ 10:26～28)!しかし現実には、神は第一ではなく、お互いの感謝は少なく、偽りや怒り、恨みから抜けられない。その惨めさに気づく人が主の御許に導かれる(マタイ 11:28～30)!神との交わりなしに律法は実行できない!★あなたは人生の正しい手引(十戒)を知り、主と共に歩み、神と人に喜ばれているか?

❷**修理と回復への手引書(出エジプト記 20:3、5)…『あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神!』**「ねたむ」とは、「熱情」の意。神は燃える愛で私たちに迫る!神以外のものに目移りするなら途端に嫉妬される。現代は、快樂・金・持ち物の自慢…様々な誘惑に満ちている!第一戒を守りぬくには、神と愛し交わる関係が全て!あなたは、神以外のものへの執着(欲)があるか(Ⅰヨハネ 2:15～16)?「わたしのほかに」とは、「わたしの前で」の意。正しく聖い人生の唯一の秘訣は、神の眼差しを受けて生きる「御前感(臨在感)」が全て!神の目の前で、自分が欲や汚れに気づき、そこに真実な悔い改めが導かれる。この神こそ、愛する者を奴隷の家から連れ出す方。神が罪を指摘して裁きを告げるのは、その向こうに赦しと回復を用意しているから!神の目は、どんな小さな罪も見逃さないが、赦しと憐れみに満ちている。何度でもやり直しのきく人生へ招かれる。「熱情」とは「受難」の意もある!その燃える愛は、神を何度も裏切るような民を忍耐し、やがて御子イエスの十字架の死となって表れる(イザヤ書 9:6～7)!ルカ 10:27『(あなたの神である主を)愛せよ/(あなたの隣人を)愛せよ』の原文は「未来形」!熱烈な神の愛を知った者は、命令や強制ではなく、心から神を愛する者…いや、愛さずにはおられない者に!

★あなたは、この熱烈な神の愛を知っているか?その赦しと憐れみの眼差しの前に生きている?自分の欲、怒り、恨み…など不健全な感情を、熱愛される神の前で、優しい、愛の思いへと変えていただく!